

学校教育調査 B (学 習)

- 学習について平成15年度調査や全国調査と比較 -

岩手県立総合教育センター

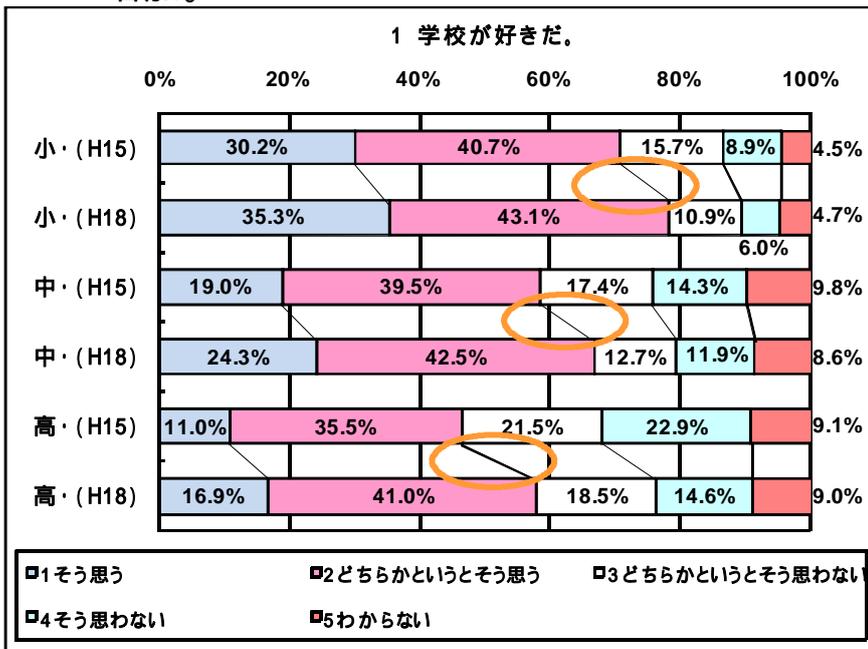
1 (学校・勉強) が好きだ。



児童生徒 自分の考えに近いものを1つ選択

「学校が好きだ」(児童生徒 Q1) を前回調査と比較すると、すべての校種で増加し、小学生は、約8割、中・高校生は、約7割が肯定的な回答。

「勉強が好きだ」(児童生徒 Q2) という児童生徒も、すべての校種で増加。



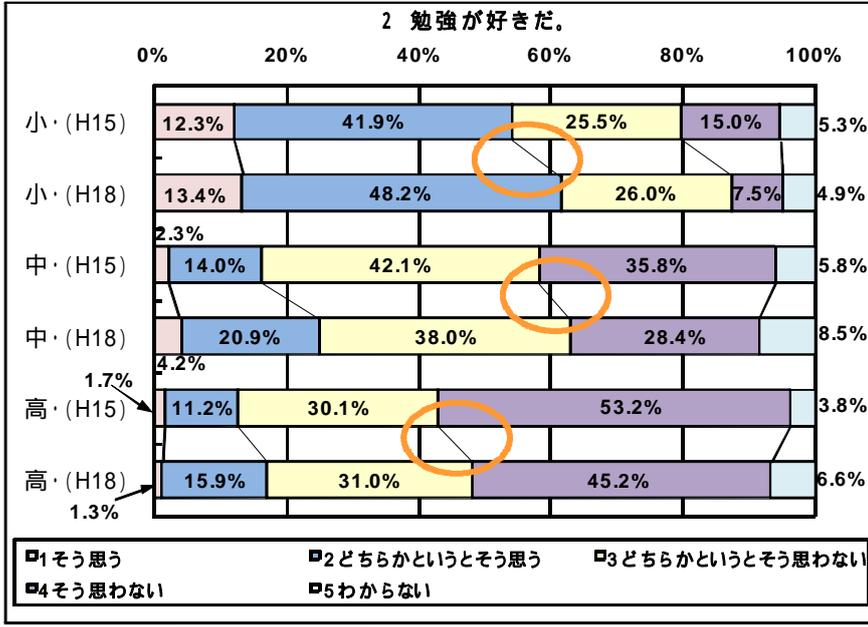
【概要】
 どちらの調査項目でもすべての校種で肯定的な回答の割合が増加しています。

【参考】
 「勉強が好きだ」という調査項目は、「平成13年度教育課程実施状況調査」(国立教育政策研究所)でも調べられています。

【小学校】
 そう思う 9.4%
 どちらかというと思う 30.4%
 どちらかというと思わない 29.2%
 そう思わない 20.4%
 わからない 9.8%
 無答 0.9%

【中学校】
 そう思う 2.8%
 どちらかというと思う 13.2%
 どちらかというと思わない 32.9%
 そう思わない 43.1%
 わからない 7.2%
 無答 0.8%

経年比較したデータや全国調査データと比較することで、自校の実態をとらなおし、課題を明確にすることが可能になります。

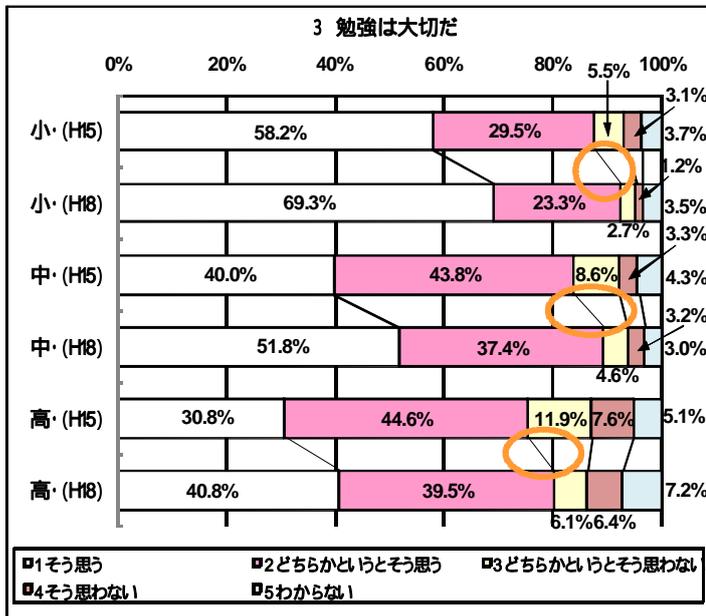


2 勉強は大切だ？

児童生徒 Q3 勉強は大切だ？

「勉強は大切だ」に肯定的に回答している割合は、すべての校種で増え、小学生で9割、中学生で約9割、高校生で8割。

小学生の約7割が、「そう思う」と回答。



肯定的な回答の割合は、すべての校種で増えています。

小学生の約69%、中学生の約52%、高校生の約41%が「そう思う」と回答し、前回調査(H15)に比べ勉強の有用性を感じている児童生徒が増えています。



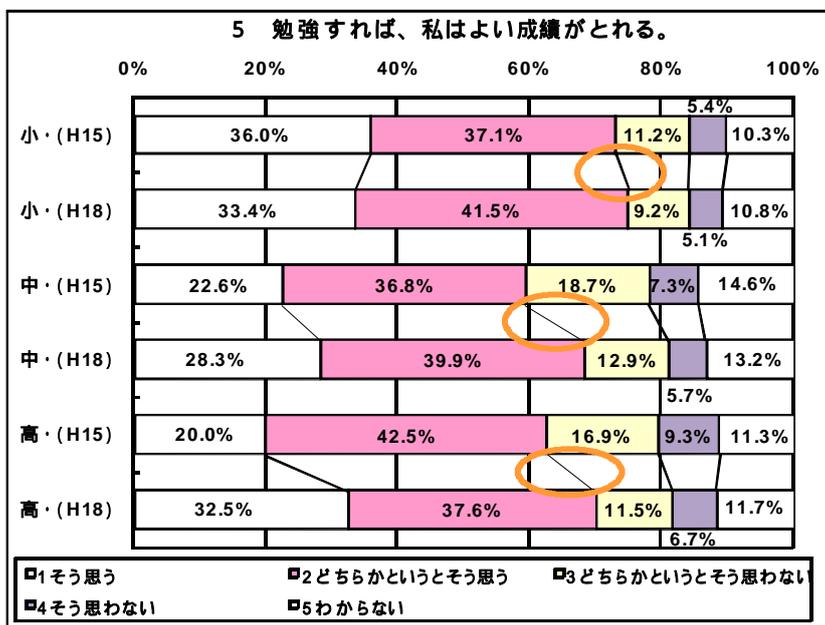
【参考】

同様の傾向が、保護者の結果でも見られます。小・中学校で約98%、高等学校で約97%の保護者が「勉強は大切である」と回答しています。

3 勉強すれば、私はよい成績がとれる？

児童生徒 Q5 勉強すれば、私はよい成績がとれる？

「勉強すればよい成績がとれる」と回答している児童生徒の割合は、すべての校種で増加。



肯定的な回答の割合は、小学生で約75%、中学生で約68%、高校生で約70%であり、すべての校種で増加しています。

「平成13年度教育課程実施状況調査」(国立教育政策研究所)では、肯定的な回答の割合が、小・中学生とも67%です。国の調査と比べ、本県は、小学生で高い傾向が見られます。

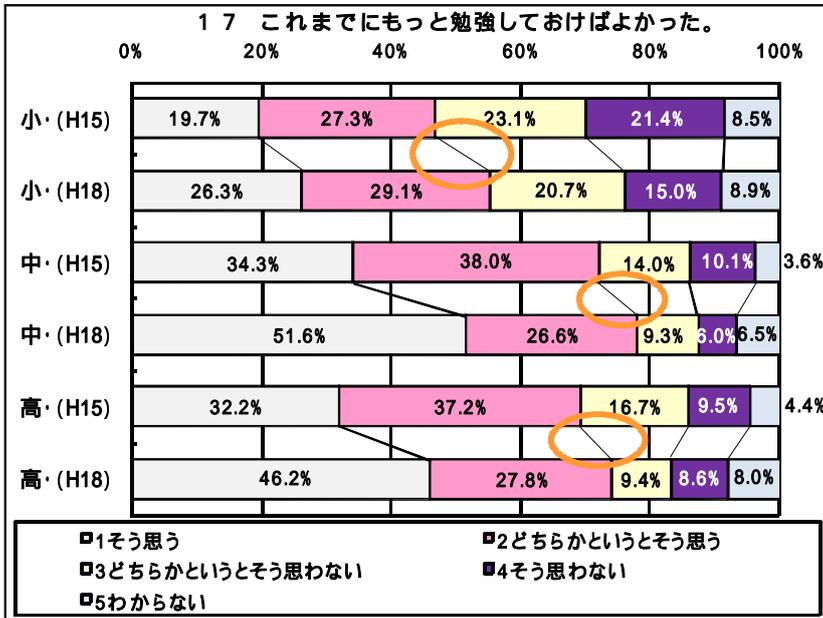
【参考】

保護者への同様の質問において、肯定的な回答は、どの校種でも90%程度です。児童生徒との差が大きい調査項目です。

4 これまでにもっと勉強しておけばよかった？

児童生徒 Q17 これまでにもっと勉強しておけばよかった？

「これまでにもっと勉強しておけばよかった」に対して「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した児童生徒が、すべての校種で増加。



これまでにもっと勉強しておけばよかったと回答している児童生徒の割合は、小学校で約55%、中学校で約78%、高等学校で約74%です。その割合が、すべての校種で増加しています。

【参考】

「第3回学習基本調査(2001年)」
(ベネッセ教育研究所)

【小】(5年生全体)

はい・いいのうち

「はい」回答者 35.4%

【中】(2年生全体)

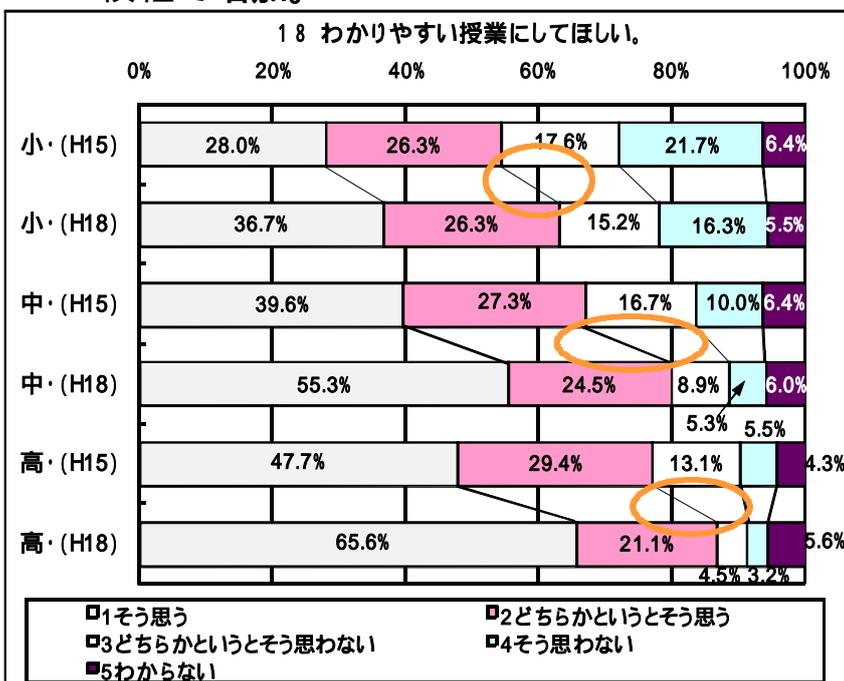
はい・いいのうち

「はい」回答者 41.6%

5 わかりやすい授業にしてほしい？

児童生徒 Q18 わかりやすい授業にしてほしい？

「そう思う」「どちらかというと思う」と回答した児童生徒が、すべての校種で増加。



わかりやすい授業にしてほしいと回答した児童生徒の割合は、小学校で約63%、中学校で約80%、高等学校で約87%です。

前回調査(H15)に比べ、すべての校種で増加しています。

【参考】

「第3回学習基本調査(2001年)」
(ベネッセ教育研究所)

【小】(5年生全体)

はい・いいのうち

「はい」回答者 41.3%

【中】(2年生全体)

はい・いいのうち

「はい」回答者 52.2%

学校教育調査

活用の **アイディア!**



その1・・・ 校内研修で・・・

例えば、**気づいたときに**児童生徒に質問し、結果を県のデータと比べてみましょう

- ・「先生の説明がわからないことある？」
- ・「先生の勉強の進め方早いなあと思う？」等々

夏季休業中の校内研修会等で・・・

- ・「うちの学級は、・・・なのよ。」
- ・「この学年は、・・・な傾向があるね。」
- ・「センターの調査と比べて、いい傾向ね。」
- ・「2学期は、に力を入れましょう！」

児童生徒の
実態把握と
共通理解



2学期に向けた
方針検討と
具体策確認

その2・・・ 学級懇談で・・・



例えば、まず**学級懇談の時期に合わせて**、児童生徒に質問してみましょう！

- ・「家庭学習の時間はどれくらい？」
- ・「自分の親のどんなところが好き??」等々

学級懇談会で・・・

- ・「家庭学習の時間が（県の実態と比較して）短いので、の内容で、分の時間を確保できるように、ご理解とご協力を・・・！」
- ・「『ほめてくれるところが好き』という割が多いので、今後もどんどんほめて！」等

児童生徒の
実態把握



保護者との
共通理解と
協力依頼

その他に・・・ こんな時の資料に!

外部評価会議等の基礎資料として
学校経営計画、学年・学級経営案、学習指導
案における児童生徒の実態の基礎資料として

（教育センターの調査結果と）学級・学校等の調査（比較）により明らかになった課題は・・・

この課題の解決のために・・・

主な質問項目及び調査対象

	質問項目の概要	児・生	保
1	学校が好きだ		
2	勉強が好きだ		
3	勉強は大切だ		
4	勉強は、入試などに関係なくとも大切だ		
5	勉強すれば、私はよい成績がとれる		
6	勉強すれば入試（就職）などに役立つ		
7	勉強すれば、好きな仕事につける		
8	学校の行事への参加		
9	勉強の有用性		
10	勉強でほめる（しかる）		
11	先生がほめてくれる		
12	よい成績のための勉強		
13	受験に役立つため勉強		
14	仕事につくための勉強		
15	自分で答えを見つける		
16	教育に関する不安		
17	もっと勉強すればよかった		
18	わかりやすい授業		
19	勉強しなさい		
20	持ち物の確認		
21	読書の時間		
22	家庭学習の方法の理解		
23	テレビ視聴時間		
24	手伝いの時間		
25	携帯電話の使用時間		
26	子どもの進学先希望		
27	子どもとの会話（友達・先生） ・「勉強・成績」・「試験」 ・「将来」 ・「1日のできごと」		
28	宿題や勉強の手伝い		

*校種により、質問内容に違いがあります。

これまでの教育調査の流れは・・・
平成14年度学校教育調査A

- ・平成15年度学校教育調査B（主に学習面）
- ・平成16年度学校教育調査C（主に生活面）

平成17年度学校教育調査A

センターのWebページに掲載しています。

www1.iwate-ed.jp

活用してのご感想やご意見等をメールでお知らせください。次回の調査の参考とさせていただきます。

E-mail : tyousa@center.iwate-ed.jp

まずは1問、児童生徒の実態を把握してみませんか？